

(第2号様式)

宮古第2041号
令和7年3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宮古高等学校
校長 松原 芳和
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	7月19日(金) 16:00~17:00	会議室	学校評議員4名 職員6名
第2回	12月20日(金) 16:00~17:00	会議室	学校評議員3名 職員6名
第3回	3月14日(金) 16:00~17:00	総合実習室	学校評議員3名 職員6名

2 学校評議員に求めた事項

本校教育活動に対する感想及び提言

- 教育界・同窓生代表としての視点より、未来を見据えた俯瞰的な助言を求める。
- 保護者代表として、子供を通わせる立場、子供を通した視点より、生徒に寄り添った助言を求める。
- PTA活動を精力的にこなしてきた経験や、学校に寄り添ってきた立場から、支援的な助言を求める。
- 地域産業界の代表としての視点より、地域の実情をもって学校を外から捉えた助言を求める。

3 学校評議員の意見

- 暑さ対策について、特に体育館での催しの在り方について検討してほしい。
- 早朝講座の在り方について、今後の見通しを聞きたい。
- 生徒指導について、保護者に委ねる部分を増やすことはできないか。より保護者に協力を仰ぐ方向性を模索することが教職員の負担を減らすことにつながり、教育活動の充実につながる。
- 島内の家賃高騰等、島内事情の変化が気になる。そのなかで、職員の働きやすさという点はどうなっているか、働き方改革はどのように進めているのか、知りたい。

4 学校運営に反映した事項

- 体育館での行事の時間縮小を実施した。
- 早朝講座は希望制という形で今後も展開していくことを確認した。
- 登下校時に校門前で送迎車による渋滞が地域住民からの苦情につながっている。引き続き、警察のパトロールを依頼する等、対策を講じていくことを確認した。
- 出張時の手続き等、簡略化できるところはないか、検討することを確認した。
- 卒業式等の大きな行事で、駐車場は確保できない旨、保護者へ協力を依頼した。

5 課題その他

- 離島だから仕方がないという発想が足枷となり、働き方改革の推進を鈍らせていないか、検証を要する。出張手続きの簡略化、生徒派遣上の縛りの緩和等、離島ならではのシステムの再考が必要である。
- 生徒により質の高い教育を提供するためにも、教職員の負担軽減に重きを置く余地がある。行事の精選、職員研修の充実、地域・保護者への説明、理解等について検討を要する。
- 入試時、受検生の保護者による迷惑駐車に対する苦情が、近隣商業施設より寄せられる。今後、保護者への協力依頼を継続するとともに、どのような働きかけが有効か、検討を要する。